概況調査票

調査日	平成19年10月9日		天候	くもり	調査者　山本　貴一
樹種名	イロハモミジ		科名	カエデ科	
変種名			別名或いは地方名		
学名	Acer palmatum		樹木の名称（愛称）		
所在地	青森県 青森市 町　字 仲2-2-40				
所有者（管理者）	1.国　2.都道府県　3.市町村　4.その他公有（　） 5.社寺　⑥個人　7.会社等　8.その他民有（　）　9.不明				
調査対象木の状況	①単木　2.並木（延長　m,　列）　3.樹群中（面積　㎡） 4.樹林中（面積　ha）　5.生垣　6.その他（　）				
樹木に対する保護制度	1.無　2.天然記念物（a.国　b.都道府県　c.市区町村）　3保護・保存樹木 4.名木指定（a.都道府県　b.市区町村）　5.その他（　）				
生育環境の概況	立地場所	1.公園　2.庭園・屋敷林　3.社寺　4.公共施設　5.ビル周辺 6.街路　⑦その他（　）			
	周囲の状況	1.樹林（a.山林等大面積　b.社叢等小面積）　2.芝生　3.耕地 ④建物の間　5.道路　6.河川　7.湖沼　8.その他（　）			
	常風	1.弱　2.普通　3.やや強い　4.強	主風方向		
	潮風の影響	①無　2.やや有　3.有　4.やや強　5.強			
	日照条件	①良　2.普通　3.やや不良　4.不良			
	土地の傾斜	①平坦（0°～5°）　2.緩斜（5°～15°）　3.中（15°～30°） 4.急斜（30°～45°）　5.嶮（45°以上）			
		傾斜方向			
	土壌	1.自然土（a.堆積土　b.崩積土　c.削剥土　d.その他（　）） ②盛土客土　3.切土			
	地形	1.山地　2.丘陵地　3.台地　4.低湿地　5.尾根　6.中腹　7.谷 8.窪地　9.扇状地　10.開折低地　11.自然堤防　12.埋立地 13.海岸　14.その他（　）			
	基岩・母材				
	根元及び周囲の植生	草本	芝生（コウライ芝）		
		低灌木			
		喬木			
	根元近くの工作物等				
	その他				

<table>
<tr><td>管理状況</td><td colspan="4">1.柵（　有・無)、有るの場合　a.高さ（　cm)　b.材質（　）　柵内面積（　）
d.設置年（　）　2.支柱（　有・無）　3.剪定（　強・　弱・無）
4.施肥（　有・　無)、有の場合　a.回数（　）　b.量（　ｋｇ）　c.種類（　）
5.薬剤散布（　有・　無)、有の場合　a.回数（　）　b.種類（　）
6.解説板（　有・無）　7.避雷針（　有・無）　8.定期的な草刈、清掃（　有・　無）
9.その他</td></tr>
<tr><td rowspan="6">形状寸法等</td><td>樹　高</td><td>7.0　m</td><td>主幹胸高（1.3m）周囲</td><td>86　ｃｍ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">株立樹木の株数および胸高周囲</td><td>周 15cm 以上の本数</td><td>本</td><td></td></tr>
<tr><td>周 15cm 以上の各々の幹周</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>枝　下　高</td><td></td><td colspan="2">根元高 20cm の周囲</td></tr>
<tr><td>枝　張　り</td><td colspan="3">・E 3.0　m　・W 3.0　m　・S 2.0　m　・N 3.0　m</td></tr>
<tr><td>樹　齢</td><td>年</td><td>その根拠</td><td></td></tr>
<tr><td>根元の状況</td><td colspan="4">1.裸地　2.草地・地被類　3. 灌木・低木
4.舗装（　a.砂利・砕石　b.アスファルト・コンクリート　c.その他（　））
⑤覆土（厚さ（25）　土性（　））　6.その他</td></tr>
<tr><td>樹木の状況</td><td colspan="4">1.枝枯　（　a.大枝（多）・中・少）　b.中枝（多）・中・少）　c.（多・中・少）
2.空洞（　有・無、有の場合　開孔…　有・　無、位置…　上・　中・　下）
3.剪定、切断痕（大きさ（）量（　））　4.主幹の傾き（角度（　）・方向（　））
5.その他（　）</td></tr>
<tr><td>過去の治療歴と内容</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>故事・いわれ等</td><td colspan="4">1. 無　信仰対象〔 a.単木が信仰対象…　ァ.社・祠あり　ィ.鳥居あり
ゥ.しめ縄あり　ェ.その他（　）　ォ.特になし
b. 樹林等全体が信仰対象…　ァ.社・祠あり　ィ.鳥居あり　ゥ.しめ縄あり　ェ.その他（　）〕
3.禁忌（タブー）（　有・　無)、あるの場合対象（　ァ.単木（全体）　ィ.幹　ゥ.枝
ェ.実　ォ.樹林全体　ヵ.その他　ｷ.不明）
4.祭事（　有・　無）（概要…　）
5.いわれの内容（　）　6.不明</td></tr>
<tr><td>視認性</td><td colspan="4">1.遠方からも目立つ　2.近くに行けば見える　3.直前まで見えない　4.敷地内に入ると良く見える　5.敷地内に入っても良く見えない（その理由（　））</td></tr>
<tr><td>特記事項</td><td colspan="4">1.動物生息　有・　無、動物の種類（　）
2.着生植物の種類（　）
3.見学・参観者数（　/年）
4.その他（　）</td></tr>
</table>

地上の衰退度判定表

評価項目		評価基準				
		0	1	2	3	4
1	樹勢	旺盛な生育状況を示し、被害が全く見られない	幾分影響を受けているが、あまり目立たない	異常が明らかに認められる	生育状況が劣悪で、回復の見込みが少ない	ほとんど枯死
2	樹形	自然樹形を保っている	若干の乱れはあるが、自然樹形に近い	自然樹形の崩壊がかなり進んでいる	自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している	ほとんど完全に崩壊
3	枝の伸張量	正常	幾分少ないが目立たない	枝は短くなり、細い	枝は極度に短小ショウガ状の節間がある	下からの萌芽枝のみ僅かに成長
4	梢や上枝の先端枯損	なし	少しあるが、あまり目立たない	かなり多い	著しく多い	梢端が欠損
5	下枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い。切断が目立つ	著しく多い。大きな切断がある	ほとんど健全な枝端がない
6	大枝・幹の損傷	なし	少しあるが、回復している	かなり目立つ	著しく目立つ。大きく切断されている	大枝・幹の上半分が欠けている
7	枝葉（芽）の密度	枝と葉の密度のバランスが取れている	0に比べてやや劣る	やや疎	枯枝が多く葉の発生が少なく、著しく疎	ほとんど枝葉がない
8	葉（芽）の大きさ	葉がすべて十分な大きさ	ところどころに小さい葉がある	全体にやや小さい	全体に著しく小さい	僅かな葉しかなくそれも小さい
9	樹皮の状態	傷などほとんどなし	穿孔・傷が少しあるが、あまり目立たない	樹皮に明らかに異常がある	大きな空洞、剥がれがある	樹皮の大部分が枯枝
10	胴吹き・ひこばえ	枝葉量が多く、胴吹きもひこばえもある	枝量は多いが胴吹きあるいはひこばえもある	枝葉量が少なく胴吹き・ひこばえがある	枝葉量が極めて少なく、胴吹き・ひこばえが多い	枝葉量が極めて少なく、胴吹き・ひこばえも少ない
	評価値			2点×1 2.	3点×8 24.	4点×1 4.

衰退度 ＝ 各項目の評価値合計 ÷ 評価項目数

3.0 ＝ 30 ÷ 10

衰退度区分	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅰ：0～0.8未満　Ⅳ：2.4～3.2未満 Ⅱ：0.8～1.6未満　Ⅴ：3.2～4.0 Ⅲ：1.6～2.4未満
	良	やや不良	不良	著しく不良	枯死寸前	

総　合　診　断

周辺環境の状況	・元々水路があった場所なので水はけの悪い土壌、環境で、(粘土質等)地下水位が高いと思われる。 ・北側には、自宅、南側には隣家、東側には駐車場、東側には、道(通路)
根系・根元土壌の状況	・植付時による、剰余な盛土、(約25cm) ・深さ、40cm前後に地下水が確認された。またその付近の土壌がグライ化傾向にある。 ・コンクリート塀　付近の土壌は、アルカリ性で、コケが生えていた。
大枝・幹の状況	・南側の地際付近に、白い菌糸膜と黒い菌糸束が見られ、ナラタケ病と断定できる。 ・幹、大枝は、枯死している。
枝葉の状況	・伸長した枝が細く、葉が小さい。葉の食害痕も少しながら見られた。 ・枝先に葉がまとまってついている。
その他	※ナラタケ 菌は樹木の根や地際部から侵入し、樹皮下に白い菌糸膜を作り組織を侵して枯死させる。地上部には萎凋症状が現れる。 ナラタケ病は一般に過湿や乾燥などの悪い土壌環境条件下の強いストレスのかかった木に起こりやすいといわれている。
総合判定	・植付に伴う根の切断、植付場所の過湿環境、過剰な盛土などによるストレスが引き金となりナラタケ病が発病したと考えられる。 ナラタケ病が樹勢を衰退させている。
治療内容	・開渠、暗渠を設置して排水経路の確保、粗粒改良材の混合で透水性の向上を計り、過湿ストレスを取り除くことで、ナラタケ菌の拡大を押さえる。 ・ナラタケ病に罹っていると思われる根をできる範囲切除して切り口に殺菌塗布剤を塗布する。

・植え替えする場合は　土の入れ替えを(ナラタケ菌が残っているので)して、高植えに(地下水に触れないため)し、通気管等を設ける。

※土を入れ替えたとしても、ナラタケ病に罹る場合もある。